

こんなイベントやりました！



いろんなイベントを開催しているひとはく。秋にはこんな楽しいイベントをしました。

- ①ひとはくフェスティバル'07
今年も、ひとはくフェスティバルを開催。15,000人以上の方がひとはくへ来てくれました。化工工房では、三枝研究員が今話題の丹波の恐竜化石のクリーニングを実演。ひとはく以外の39団体も出展、フェスティバルを盛り上げてくれました。(プログラムには載っていないゲンゴロウすくいのイベントも登場♪) この日の目玉のひとつは、アバトサウルスやティラノサウルスなどをつくる「恐竜クラフトづくり」のイベント。4回実施、84名が参加してくださいました。
- ②ミニキャラバン「有馬富士フェスティバル」
ひとはくミニキャラバン隊は10月20日から21日の2日間、兵庫県立有馬富士公園にお邪魔してきました。ひとはくの研究員が、普段展示していない模型や生きているカエルやサンショウウオを使って解説。公園内を歩いて目の前の鳥や植物についての自然観察ツアーも実施しました。最近、話題になっている「カエルツボカビ症」について、少しでもみなさんに分かってもらえたらとパネルを使って解説しました。
- ③フロントスタッフのイベント「あおぐだけじゃない！学べる『アメリカマストドンのうちわ作り』」
1階展示室「生物の歴史」アメリカマストドン骨格標本を見たことありますか？このアメリカマストドンの生態や骨格について学びながら、アメリカマストドンのうちわをフロントスタッフと作ってみました。ひとつひとつの骨の名前(部位)、特徴などを聞きながら、パズル型パネルで実際に骨のピースをはめ込んで、うちわに貼っていきます。マストドンのうちわのサンプルは、ひとはく4階カウンターにも置いてあります。見に来て是非うちわで作ってみたいですね。
- ④ミュージアムティーチャー・長谷川先生の特注セミナー
「ちがいをみつける」のテーマで兵庫県立甲山高等学校のみなさんが受講されました。いろいろな生きもの(はっぱや根菜などの植物、タヌキ・アライグマのはく製やニホンジカの骨など)の実物を示し、楽しい話術も交えながらわかりやすく解説。この日は、開花したマダケや、恐竜の脳函(うかん)の話など旬の話題も盛り込み、時折受講生も参加しながら、まるで実験ショーでも見ているかのようにテンポよく講義が進みました。(特注セミナーとは、団体でご来館のお客様に、オーダーメイドで実施するセミナー。詳しくはお問い合わせください。)
- ⑤オープンセミナー「哺乳類化石産地見学会(三田炭坑の化石産地)」
「今度は炭坑...」新聞に見出しが躍った直後のタイムリーなオープンセミナーが、10月7日(日)に開催されました。炭坑とは、約3000万年前に生息し現在は絶滅した、カバの遠縁にあたる哺乳類。先日、学会で新種であることが認められ、「ポトリオドン・サンダエンシス(三田炭坑)」と名づけられました。64名の受講者は、三枝研究員の説明にロマンを掻き立てられながら、人類が地上に登場するはるか昔の三田の様子に思いをはせていました。



③アメリカマストドンの解説をするフロントスタッフと完成したうちわ



①ティラノサウルスのペーパークラフトづくり



③アメリカマストドンの解説をするフロントスタッフと完成したうちわ



⑤炭坑化石産地での解説(三枝研究員) ②有馬富士フェスティバルの様子



④特注セミナー「ちがいをみつける」の様子



臨時休館日のお知らせ
1月21日(月)から2月7日(木)までは、メンテナンス等のため、臨時休館いたします。

ひとはくセミナー情報

4日(金) 13:30~14:30
館長新春セミナー
お正月もいよいよ冬植物
ウラボシは、しめ縄や門松にも添えられ、餅餅を飾る三方にも不可欠です。真の白い葉は純潔を意味し、真っ白な日々を幸せを書き込むことを意図するといわれています。ウラボシの例を手始めに、お正月植物の意味を考えます。(岩瀬邦男) 申込不要

12日(土) 13:30~15:00
生態系ってなに?
生態系の危機あるいは保全といった言葉がさかんにつかわれますが、生態系っていったいなんなのでしょう?自然環境と生態系の関係はどう違うのでしょうか?このセミナーを受講すればそんな疑問はいつか心に吹き飛んでしまおう。 (江崎保男) 受講料:500円 申込番号 D10

13日(日) 11:00~16:00(13日), 13:30~16:00(20日)
植物リサーチクラス5
標本の調べ方(全2回)
標本の整理方法や、利用の仕方を実験します。また、博物館の収蔵庫に収められている標本を用いて実習をします。植物の特徴等をしっかり調べましょう。(布部静香・高橋晃) 受講料:1000円 申込番号 B43

■はがき、ファックス、E-mailの場合
①氏名 ②年齢 ③住所 ④電話・ファックス番号
⑤E-mail アドレス ⑥受講希望セミナーの申込番号
⑦セミナー名をご記入の上、下記までお申し込み下さい。
■お問い合わせ・お申し込み先
〒669-1548 三田市弥生が丘6丁目
兵庫県立人と自然の博物館 生涯学習部 セミナー係
Tel.: 079-559-2003 Fax: 079-559-2033
E-mail: seminar@hitohaku.jp
■ホームページからの場合
以下のホームページからお申し込み下さい。
URL: <http://www.hitohaku.jp>

17日(木) 11:30~13:00
地球環境はどのようにしてつくられたのか
46億年から今日に至るまでの地球環境の変化を学びます。クラーク記念国際高校の生徒も授業の一環として受講します。(先山龍) 受講料:500円 申込番号 A20

17日(木) 10:00~11:30
世界の環境変化と生態系
クラーク記念国際高校の生徒も授業の一環として受講します。(橋本佳明) 受講料:500円 申込番号 D11

19日(土) 13:30~15:00
鳥を科学する
科学するとはどういうことでしょうか?この講座では、鳥の生態を材料に、科学的にものを考え、解析するとはどういうことかを考えます。同時に、鳥の生態環境を適切にとらえるにはどうしたらよいかを、受講者参加型で考えます。(江崎保男) 受講料:500円 申込番号 D12

オープンセミナー(申込は不要です)
14日(祝) 鳥の目で川を見る
石工房(チャートの火打ち石を使おう)
20日(日) 企画展ギャラリートーク
昆虫のトリビア
博物館の裏側を見るツアー
花工房&古代体験
ドリームスタジオ
※「実演」化石工房
6日(日)と13日(日)と20日(日)に開催
※フロアスタッフのイベント
デジタル紙芝居、うきうきシート、展示室ツアー、フロアスタッフと遊ぼう、はってなQ便など開催

2月
オープンセミナー(申込は不要です)
10日(日) 昆虫のトリビア
17日(日) 石工房(くらやみで光る鉱物や岩石を見てみよう)
花工房&古代体験
ドリームスタジオ
24日(日) ソウムシ学序論
ふかたん「冬の鳥」
※「実演」化石工房は10日(日)と17日(日)と24日(日)に開催
※フロアスタッフのイベント
デジタル紙芝居、うきうきシート、展示室ツアー、フロアスタッフと遊ぼう、はってなQ便など開催

9日(土) 10日(日) 13:30~15:30(両日とも)
変わる豊長類学
豊長類学は、今西錦司や岡合隆雄といった先達によって花開きました。そして、進化生物学や進化心理学を取り込んで、大きく変化しています。このセミナーでは、どのように変化しつつあるのかを解説します。(三谷雅純) 受講料:800円 申込番号 D13

11日(祝) 10:00~17:00
共生のひろば
ひとはく市民でも有馬会
ひとはく地域研究員・ひとはく連携グループの方や地域のみなさんが顔を合わせ、とっておきの発見を互いに報告する「共生のひろば」。発表するもよし、聞くだけでもよし、展示するもよし、知恵と情報の共有をはかる、なんでも発表会です。是非お越しください。 申込番号 E18

17日(日) 10:00~16:00
ひとはくサイエンスショー 2007
「見て!知って!体験して!」理科は感動だ!
今年も親子で楽しめる科学の実験、工作を実施します。ひとはくは理科好きの子どもたちを応援します!
※ワークショップには当日配布の整理券が必要です。展示ブースは自由参加です。 申込不要

16日(土) 13:30~15:00
日本の森林群落
森林国日本には様々なタイプの森林が分布しています。どんな森林がどんな場所に見られるのか?どうやって更新しているのか?日本の森林の特徴と生態をわかりやすく解説します。(石田弘明) 受講料:600円 申込番号 B44

23日(土) 10:00~15:00
南あわじ沼島のシダを見る
南あわじ市の沼島に行って、生えている南方系のシダ植物(イシカグマ、ナンカイイタチシダなど)を観察します。現地集合です。(藤本純) 受講料:700円 申込番号 B45

23日(土) 13:00~15:00
自然の不思議な造形
自然の不思議な造形である「泡」について実習を通して体験します。簡単な実験で泡をつくり、それを紙に写し取り、写し取った紙はもって帰ることが出来ます。美しい模様をぜひ体験してみてください。(宮野尚志) 受講料:大人500円、子ども400円 申込番号 F08

オープンセミナー(申込は不要です)
9日(日) 水生昆虫を顕微鏡で観察してみよう
16日(日) 企画展ギャラリートーク
ソウムシ学見学会
昆虫のトリビア
花工房&古代体験
ドリームスタジオ
20日(祝) 生物系収蔵庫ツアー
30日(日) ふかたん「早春の花」
※「実演」化石工房
毎週日曜日に開催
※フロアスタッフのイベント
デジタル紙芝居、うきうきシート、展示室ツアー、フロアスタッフと遊ぼう、はってなQ便など開催

1日(土) 15:00~17:00
ホタル幼虫の上陸観察(2年目)
ゲンジボタルの、特に薄の夜に光りながら上陸する幼虫の生態を学びます。前年の結果を報告した後、車に分乗して現地の上陸観察を行います。幼虫の上陸観察は後日の雨の日になります。観察担当が上陸を観察したとき全員に連絡します。(大谷剛) 受講料:大人500円、子ども300円 申込番号 C25

1日(土) 13:30~15:00
外来緑化樹木の利用と問題点
ニセアカシアやトウネズミモチ等の外国から持ち込まれた樹木は、その国の生態系をおびやかすと危惧されていますが、当時は有益だから持ち込まれたはず。このセミナーでは、利点と問題点を整理し、よりよい関係を築きます。(橋本佳明) 受講料:500円 申込番号 B48

16日(日) 13:30~15:30
里山で遊ぼう
有馬富士公園に行って、里山の樹で「ほだ木」を作り、椎茸を育てます。ほだ木は育てば採れます。風通しの良い日陰に置いておくと、1年~2年目から椎茸がとれます。(赤澤幸徳) 受講料:大人500円、子ども300円 申込番号 E21

20日(祝) 10:00~12:00
タネから育てる希少山野草
1. 書籍 山野草タネのまき方・育て方
2. 実習 色々な山野草のタネ播き(西部泰弘:神戸実生増殖研究会、伊東吉夫:三田山草会) 受講料:700円 申込番号 B46